

2017年度久留米大学内科研修プログラム(案):内科専門医早期取得を目指して

久留米大学病院内科研修の特徴

1. 学位の取得(最短コースでは4年目)
2. 福岡県南で最多の剖検数
3. 福岡県南で唯一の内科全領域(9領域)
4. 専門医を最速で取得
5. 国内外への留学
6. 多彩な関連病院群

専門医取得を目指した久留米大学内科後期研修カリキュラム

初期臨床研修2年間で不足している症例を経験する目的で、2~3か月間、選択科をローテーションし、内科専門医取得に向け、早期に資格取得に必要な研修を行う

後期研修3年目で不十分な場合は、4年目、5年目に選択科をローテーションすることも可能

内科専門医に必要な症例が揃っている場合は、希望するサブスペシャリティでの研修を集中的に行い、サブスペシャリティ専門医を取得する

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
後期研修3年目	必要に応じ、下記の選択科を2~3か月間ずつローテーション											
後期研修4年目	サブスペシャリティでの研修											
後期研修5年目	サブスペシャリティでの研修											

選択科
 呼吸器・神経・膠原病内科部門
 消化器内科部門
 心臓・血管内科部門
 内分泌代謝内科部門
 腎臓内科部門
 血液・腫瘍内科部門
 高度救命救急センター

優秀な内科専門医を目指した久留米大学内科研修コース

↓内科学会入会、専門が決まれば、早期にサブスペシャリティ学会入会 ↓サブスペシャリティ専門医試験

← 医学博士取得 →

↓内科専門医病歴提出

↓入局

↓内科専門医筆記試験 ↓内科指導医認定

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目
初期研修医・論文博士コース	初期臨床研修	初期臨床研修	後期臨床研修(関連病院も可)	後期臨床研修(関連病院も可)	後期臨床研修(関連病院も可)	論文作成/助教	論文作成/助教	論文作成/助教	論文作成/助教	論文作成/助教	論文作成/助教	論文作成/助教
初期研修医・大学院通常コース	初期臨床研修	初期臨床研修	後期臨床研修	後期臨床研修	大学院	大学院	大学院	大学院	大学院	助教	助教	助教
初期研修医・早期大学院コース①	初期臨床研修	初期臨床研修	後期臨床研修	後期臨床研修	大学院	大学院	大学院	大学院	大学院	助教	助教	助教
初期研修医・早期大学院コース②	初期臨床研修	初期臨床研修	後期臨床研修	後期臨床研修	大学院	大学院	大学院	大学院	大学院	助教	助教	助教
初期研修医・社会人大学院コース	初期臨床研修	初期臨床研修	後期臨床研修(関連病院にて)	後期臨床研修(関連病院にて)	社会人大学院	社会人大学院	社会人大学院	社会人大学院	社会人大学院	助教	助教	助教
初期研修医・大学院特別コース	初期臨床研修	初期臨床研修	後期臨床研修(関連病院も可)	後期臨床研修(関連病院も可)	大学院	大学院	大学院	大学院	大学院	助教	助教	助教
初期研修医・論文博士・留学コース	初期臨床研修	初期臨床研修	後期臨床研修(関連病院も可)	後期臨床研修(関連病院も可)	大学院	論文作成/助教	論文作成/助教	論文作成/助教	論文作成/助教	助教	助教	留学(1~3年程度、必要に応じ調整)
初期研修医・大学院・留学通常コース	初期臨床研修	初期臨床研修	後期臨床研修	後期臨床研修	大学院	大学院	大学院	大学院	大学院	助教	助教	留学(1~3年程度、必要に応じ調整)
初期研修医・早期大学院コース①	初期臨床研修	初期臨床研修	後期臨床研修	後期臨床研修	大学院	大学院	大学院	大学院	大学院	助教	助教	留学(1~3年程度、必要に応じ調整)
初期研修医・早期大学院コース②	初期臨床研修	初期臨床研修	後期臨床研修	後期臨床研修	大学院	大学院	大学院	大学院	大学院	助教	助教	留学(1~3年程度、必要に応じ調整)
初期研修医・社会人大学院・留学コース	初期臨床研修	初期臨床研修	後期臨床研修(他病院にて)	後期臨床研修(他病院にて)	社会人大学院	社会人大学院	社会人大学院	社会人大学院	社会人大学院	助教	助教	留学(1~3年程度、必要に応じ調整)
初期研修医・大学院・留学特別コース	初期臨床研修	初期臨床研修	後期臨床研修(他病院も可)	後期臨床研修(他病院も可)	大学院	大学院	大学院	大学院	大学院	助教	助教	留学(1~3年程度、必要に応じ調整)

内科専門医研修プログラム(到達レベル)

- 知識に関する到達レベル
 - 病態の理解と合わせて十分に深く知っている
 - 概念を理解し、意味を説明できる
- 技術・技能に関する到達レベル
 - 複数回の経験を経て、安全に実施できる、または判定できる
 - 経験は少数例だが、指導者の立ち会いのもとで安全に実施できる、または判定できる
 - 経験はないが、自己学習で内容と判断根拠を理解できる
- 症例に関する到達レベル
 - 主治医(主たる担当医)として自ら経験した
 - 間接的に経験している(実症例をテーマとして経験した、または症例検討会を通して経験した)
 - レクチャー、セミナー、学会が公認するセルフスタディやコンピューターシミュレーションで学習した

内科専門医取得のために必要な経験症例

専攻医自身が内科を専攻することを意識した時点で、Web研修手帳のシステムへ登録を開始する
症例登録(5年間のうち、200症例以上)

- 研修登録症例の領域
総合内科I(一般)、総合内科II(高齢者)、総合内科III(腫瘍)、
消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病および類縁疾患、感染症、救急
- 各領域の疾患群の数
消化器(9) 循環器(10) 内分泌(4) 代謝(5) 腎臓(7) 呼吸器(8) 血液(3)
神経(9) アレルギー(2) 膠原病および類縁疾患(2) 感染症(4) 救急(4)
疾患群の数の合計=67+3(総合内科I、II、III) 総合内科I、II、IIIは特定の臓器別領域を指すものではない
- 求められる症例経験(登録する症例)
67+3に大別された疾患群それぞれにおいて、最低1つ以上の症例経験が求められる

内科専門医の受験資格

- 後期研修から満2年の内科研修期間が経過している
- 初期研修時の症例も含め、200症例以上を主治医(主たる担当医)として受け持っており、Web研修手帳への登録が完了している
- 症例は上記の67+3疾患群の全てにおいて、最低1症例を登録している
- 作成する病歴要約は全て、Web研修手帳に登録と評価が完了している症例から提出する

久留米大学内科研修病院群

(北海道)

標津病院

(秋田県)

秋田大学医学部附属病院

(宮城県)

東北大学病院

(大阪府)

国立循環器病研究センター

(山口県)

下関市立市民病院

(福岡県)

大牟田市立病院

聖マリア病院

公立八女総合病院

社会保険 田川病院

久留米総合病院

財団法人 柳川病院

筑後市立病院

宗像水光会総合病院

朝倉医師会病院

原鶴温泉病院

国立病院機構大牟田病院

済生会大牟田病院

済生会福岡総合病院

福岡市医師会成人病センター

ヨコクラ病院

済生会八幡総合病院

国立病院機構小倉医療センター

小倉記念病院

大牟田中央病院

植田病院

川崎病院

甘木中央病院

高木病院

(佐賀県)

国立病院機構東佐賀病院

佐賀中部病院

白石共立病院

うえむら病院

和田記念病院

啓心会病院

和田内科循環器科

医療法人社団 如水会 今村病院

(長崎県)

佐世保共済病院

香岐市民病院

(大分県)

大分県済生会日田病院

岩尾病院

中津市立中津市民病院

(熊本県)

熊本セントラル病院

医療法人誠心会 東病院

(宮崎県)

宮崎市郡医師会病院

杉循環器科内科病院

田主丸中央病院

貝塚病院

篠栗病院

戸畑共立病院

柳川リハビリテーション病院

社会保険 二瀬病院

筑後川温泉病院

長田病院

嶋田病院

おおりん病院

新古賀病院

樋口病院

萩原中央病院

古賀病院21

霧ヶ丘つた病院

福岡ゆたか中央病院

横田病院

独立行政法人国立病院機構 福岡病院

医療法人社団高邦会 福岡山王病院

福岡通信病院

社会医療法人 製鉄記念八幡病院

国立病院機構九州医療センター